

三年	国語	Gアップシート	書く6
----	----	---------	-----

組	番・氏名
---	------

★後輩に古典メッセージカードを贈ろう

◇三年生の大崎さんの学級では、後輩に伝えたいメッセージを、古典を引用したメッセージカードによって伝えることになりました。中田さんは卓球部の後輩にメッセージカードを贈ることにし、次のようなカードを書きました。

明日ありと思ふ心のあだ桜

夜半に嵐の吹かぬものは

親鸞（「親鸞上人絵詞伝」より）


明日があると思う心ははかない桜の花と同じだ
夜に嵐が吹こうものならかんとんに失われてしまう

これは親鸞上人が九歳の時の言葉です。和尚さんに「今日は遅いからもう休みなさい」と言われたときに返した言葉で、「いつでも明日があると思わず、今を大切にしなければならぬ」という意味が込められています。

私たち三年生はもうすぐ卒業の日を迎えます。この三年間の部活動を思い起こすと、日々の活動に真剣に取り組んだ充実感もありますが、あの時もつとがんばればよかった、という気持ちもないわけではありません。しかし、今となっては取り返せません。

三年間は長いようで短い時間です。後輩のみんなは今を全力でがんばって下さい。明日ありと思ふ心は、はかないあだ桜ですよ。

大崎帆夏



問一 このカードはどのような構成になっているでしょうか。次のア～エを並びかえなさい。

【全体の構成を工夫して、テーマに即した文集を編集する】

- ア 引用した言葉から後輩に伝えたいこと
- イ 引用した古典の言葉についての説明
- ウ 引用した古典の言葉に対する自分の経験
- エ 後輩に贈るために引用した古典の言葉

↓ ↓ ↓

問二 カードの中に引用する際のルールが守られていない部分が二カ所あります。その部分を抜き出し、ルールを守った形に直して書きなさい。

【古典の原文や現代語訳等を適切に引用して、テーマに即した文集を編集する】

--	--

問三 大崎さんは最後の段落の始めに、引用した言葉に対する自分の考えを加えようと考えました。その際に加える文として最も適切なものを、ア～エの中から一つ選びなさい。

【引用した古典の一節についての自分の考えや感想などを書く】

ア この言葉は何かがうまくいかなくて苦しいときに、勇気をくれる言葉だと思います。

イ この言葉は当たり前だけれど忘れがちなことを、思い出させてくれる言葉だと思います。

ウ この言葉は大きな悩み事がある時、決断するのを助けてくれる言葉だと思います。

エ この言葉は私たちの日々の生活に深く入り込んで、離れられない言葉だと思います。



--

◇グループでお互いの書いたカードを読み合い、意見の交流をしました。

問四 大崎さんの書いたカードの、「構成の仕方」に対する意見として適切なものを、ア～エから一つ選びなさい。

【文集を互いに読み合い、全体の構成の仕方について評価する】

ア 大崎さんの正直な気持ちが書いてあるから、後輩にはとても参考になるんじゃないかな。

イ 古典の言葉が大崎さんの経験を経て、後輩に身近になっていく展開が分かりやすくいいね。

ウ 親鸞がこの言葉を言ったときの状況を、もっとくわしく書いた方がいいんじゃないかな。

エ 親鸞の言葉と大崎さんの部活動を結びつけたおかげで、古典が身近に感じられるね。

--

【書く6 後輩に古典メッセージカードを贈ろう】

問一 エ↓イ↓ウ↓ア 問二 「明日ありと思ふ心」 「あだ桜」

問三 イ 問四 イ

解説 問一 伝えたいことが読み手にしつかりと伝わるように、構成を工夫しましょう。この問では引用した言葉がどういう言葉なのか説明してから、その言葉に込めたい思いを述べる構成になっています。

問二 引用する際のルールは主に次の様なものになります。

- ・ 引用部分は「」でくくること
- ・ 出展を明示すること
- ・ 引用する量が適切な量であること

この問題では「」でくくられていない部分があります。

問三 引用する際には、ねらいに沿った適切な言葉を、ねらいに沿った適切な文脈の中に引用することが大切です。(イ) 以外はこのカードで伝えたい内容から離れた意見になっています。

問四 意見を述べる視点が決まっている際には、その視点に従って意見を述べましょう。(ア) (ウ) (エ) は文章の内容に関する意見で、構成に関する意見ではありません。